

臨界 50 周年記念会 実施報告

1963（昭和 38）年 1 月に原子炉が運転を開始（＝原子炉が「臨界」を達成）してから 50 年の節目の年を迎えました。原子炉施設は現在廃止措置中ですが、制御卓など既存の設備を用いた教材開発や、放射性同位元素取扱施設として福島復興支援等の活動を行うなど、これまでの実績を活用した教育・研究活動を展開しています。こうした現在の状況を大学関係および五島育英会関係の皆様方にご報告するとともに、今後の将来計画について当研究所から発信する場を設けることといたしました。北澤学長からは、原子炉の廃止措置に関する国内外の動向をよく注視し、着実に対応するようにと述べられるとともに、小型加速器等の活用などの将来計画について、学生に夢を与えられるような研究が活性化されることを期待するといったお言葉を頂きました。当研究所では、今回頂いたコメントを今後の教育・研究活動に生かし、一層の発展を目指して参ります。

2013 年 10 月 30 日

東京都市大学 原子力研究所



写真1 講演の様子

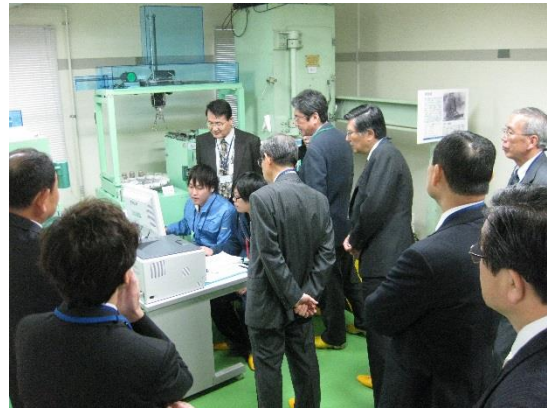


写真2 施設見学（放射能測定実験室）

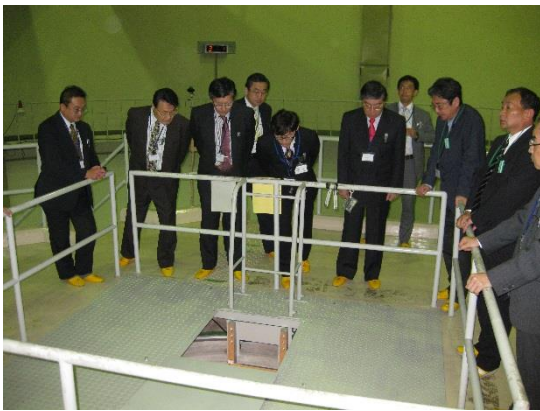


写真3 施設見学（原子炉の炉頂）



写真4 意見交換の様子



写真5 集合写真

臨界 50 周年記念会 式次第

日程：2013 年 10 月 30 日（水） 13：30～

場所：原子力研究所 第 2 講義室

式次第：

開会（司会：羽倉）	13：30
1. 武蔵工大炉の研究・教育の成果（松本）	13：30-14：00
2. 現在の主なアクティビティ	14：00-15：00
(1) 教材開発 武蔵工大炉シミュレータの開発（飯島）	
(2) 福島復興支援：三次元汚染空間における空間線量率評価手法の研究（三橋）	
(3) 多試料多核種同時分析機器の復活と放射線知識普及活動（岡田）	
3. 施設見学（原子炉室、GAMA 室、制御室）	15：00-15：50
休憩	15：50-16：00
4. 武蔵工大炉廃止措置の到達点（丹沢）	16：00-16：30
5. 研究所の将来計画(案)	16：30-17：00
(1) 全体概要（羽倉）	
(2) 廃止措置の実践を踏まえた廃止措置のあり方検討と教育・研究への活用（内山）	
(3) 小型加速器の構築と今後の展開（羽倉）	
6. 意見交換	17：00-17：30
閉会（松本）	17：30
集合写真撮影	

以上